INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2005/004503

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl ⁷ H04N1/46, B41C1/00, B41J2/525, 5/30, G06T1/00, H04N1/60						
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC						
B. FIELDS SEARCHED						
Int.Cl ⁷	entation searched (classification system followed by class H04N1/46, G06T1/00, H04N1/60					
Jitsuyo Kokai Ji	earched other than minimum documentation to the extent Shinan Koho 1922-1996 Jita tsuyo Shinan Koho 1971-2005 Tom ase consulted during the international search (name of da	suyo Shinan Toroku Koho oku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2005			
Electronic data se	ase consumed an angle are an annual and an analysis and an ana					
C. DOCUMEN	TS CONSIDERED TO BE RELEVANT					
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate approximation of the company of the com	ropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.			
Х	JP 11-296664 A (Dainippon Pri 29 October, 1999 (29.10.99), Par. Nos. [0002] to [0004], [0 Figs. 1 to 6 (Family: none)		1-11			
P, A	JP 2004-291604 A (Konica Mino Kabushiki Kaisha), 21 October, 2004 (21.10.04), Par. Nos. [0040] to [0134]; F: (Family: none)		1-11			
Further do	ocuments are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.				
A document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance		To later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention. All document of particular relevance: the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone. To document of particular relevance: the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art document member of the same patent family.				
Date of the actual completion of the international search 08 July, 2005 (08.07.05)		Date of mailing of the international search report 26 July, 2005 (26.07.05)				
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer				
Facsimile No. Form PCT/ISA/2	Facsimile No. Telephone No. Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2004)					

特許協力条約 . .

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44] International Search Report

出願人又は代理人 の書類記号 JRISO-98-PCT	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2005/004503	国際出願日 優先日 (日.月.年) 15.03.2005 (日.月.年) 19.03.2004		
出願人 (氏名又は名称) 理想科学工業株式会社			

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で ___2 ページである。

厂 この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

- 1. 国際調査報告の基礎
 - a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 「この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った(PCT規則23.1(b))。
 - b. デ この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第 I 欄参照)。
- 2. 『 請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。
- 3. 『 発明の単一性が欠如している (第Ⅲ欄参照)。
- - 次に示すように国際調査機関が作成した。
- - 「第IV欄に示されているように、法施行規則第47条 (PCT規則38.2(b)) の規定により 国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ の国際調査機関に意見を提出することができる。
- 6. 図面に関して
 - a. 要約書とともに公表される図は、

第 __1 図とする。 ☑ 出願人が示したとおりである。

- | 出願人は図を示さなかったので、国際調査機関が選択した。
- 「 本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。
- b. 三 要約とともに公表される図はない。

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int.Cl.⁷ H04N1/46, B41C1/00, B41J2/525, 5/30, G06T1/00, H04N1/60

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int.Cl.7 H04N1/46, G06T1/00, H04N1/60

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1922-1996年

日本国公開実用新案公報

1971-2005年

日本国実用新案登録公報

1996-2005年

日本国登録実用新案公報

1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

O. 1975	で、				
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号			
х	JP 11-296664 A (大日本印刷株式会社) 1999. 10. 29, 【0002】~【0004】, 【0013】~【0029】, 第 1-6 図(ファミリなし)	1-11			
P, A	JP 2004-291604 A (コニカミノルタホールディングス株式会社) 2004. 10. 21, 【0040】~【0134】、第 1-44 図(ファミリなし)	1-11			

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用す る文献(理由を付す)
- 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

08.07.2005

国際調査報告の発送日

96.7.2005

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁(ISA/JP)

郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 特許庁審査官(権限のある職員)

5V 8834

仲間 晃

電話番号 03-3581-1101 内線 3571